

沖縄県におけるデザイン振興・支援に関する取り組みの紹介

沖縄県工業技術センター 機械・金属班（デザイン担当） 宜保秀一
沖縄県工芸振興センター（木漆工・デザイン担当） 大城直也

◇ はじめに

沖縄県におけるデザイン振興・支援に関する取り組みは、施策としては商工労働部ものづくり振興課が所管しており、企業や工房といった製造現場に直接関わる出先機関としては、沖縄県工業技術センター、沖縄県工芸振興センターのそれぞれが研究開発、技術支援および人材育成を実施しています。

ここでは、過去に沖縄県が実施した代表的な取り組みと現在実施している事業、工業技術センターのこれまでの取り組み、工芸振興センターのデザインに関する取り組みといった順に紹介します。

◇ 沖縄県のデザイン支援事業

1. 沖縄デザイン戦略構築促進事業

平成18年度の国の特別振興対策費に採択された事業で、県内産業をデザイン戦略によって活性化し、国内外競合との差別化、ブランドの確立による高付加価値化、販路拡大などを目指すとして、沖縄県工芸振興センターの強力なバックアップのもと3年間実施されました。

本事業ではデザインセミナーやデザインコンテストの開催、見本市や展示会への出展など、「新おきなわスタイル」として、これからの沖縄デザインの進むべき方向を模索・提言しました。事業最終年度の総括として発行された、沖縄独自のデザイン戦略の方向性を示した冊子「OKINAWA DESIGN SOURCE」をはじめ、後継の県産品デザイン活用促進事業により、デザインの概念やデザイナー活用のイロハを解説した「OKINAWA + DESIGN」、県内デザイナーを紹介する「Okinawa Designer's File 2012」といった全三部作の冊子は、内外から高い評

価を得ました【図1】。10年ほど前の事業ですが、以降のデザイン振興・支援におけるマイルストーンとして大きな意義を持つ取り組みであったと考えています。

● 図1 “沖縄デザイン本”と称される3部作(表紙)



2. 工芸製品新ニーズモデル創出事業

現代の社会ニーズに対応した製品づくりを模索している工芸事業者を発掘し、新商品開発の支援を行うとともに、工房運営セミナーによる経営基盤の向上を図ることを目的に平成23年度より実施している事業です。昨年度までの9年間で51事業者を支援、335アイテムもの新製品を開発し、その多くが定番商品化されています。

毎年出展している東京インターナショナル・ギフトショーも好評で、新規販路開拓や事業者ごとのプロモーション力の向上など、工房運営改善のきっかけとなっています【写真1】。また、工芸振興センターで実施している人材育成プログラムとの連携により、個人のデザインスキルの体得から経営ノウハウの改善といった、事業者のステージに合わせた支援を実現しています。